

平成28年度

学校自己評価表

学校運営実施計画

<b>学校運営方針</b>	<p>(1) 学校の教育目標 勤労と責任を重んずる有為な産業人を育てる。 ・基礎学力の向上（聡明な判断力） ・体力、気力の練成（たくましい力） ・職業的資質の育成（誠実な心）</p> <p>(2) 学校の基本指針 ・社会に貢献する経済人を育むビジネス教育を推進する。 ・高度な資格試験に挑戦する資質と気概を培う実践的な教育を目指す。 ・生徒の自己実現を積極的に支援する。 ・遅しく生きる健やかな心身の育成に努める。 ・心豊かな人間教育をすべての教育活動とおして実践する。</p> <p>(3) 本年度の実践目標 ・実践・体験学習を通じて進路選択を開拓しよう。 ・お互いの存在を尊重し豊かな人格を形成しよう。</p>	
昨年度の成果と課題	本年度の重点目標	具体的目標
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職達成率100%</li> <li>進学達成率99.3%</li> <li>商業実務競技大会、運動部等の全国大会での活躍</li> <li>全商1級3種目以上合格者101名</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望する進路を実現するため、学年及び教科等との更なる連携の強化を推進する。</li> <li>学力向上と部活動との両立を図るとともに、学校を更に活性化させる教育計画の作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の存在を尊重する心を育む人間教育の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友情、友愛、いじめ・差別を許さない全人教育の推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の確実な定着と応用力の更なる向上を図る。</li> <li>興味や関心を抱かせる授業を工夫するとともに、取得資格を活用した進路実現を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かる授業と体験的な実践授業に基づく学力の向上</li> <li>補習等を活用した応用力の更なる向上</li> <li>資格試験の合格率の向上</li> <li>就職内定率100%、進学達成率100%</li> <li>全商検定1級3種目以上合格率50%</li> <li>希望進路実現のための適切な進路指導の充実</li> <li>進路情報の充実</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動と部活動の両立を図る。</li> <li>部活動指導を通じ、学校の更なる活性化を図り、社会性や帰属意識を醸成する。</li> <li>全教職員による指導体制で生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の学習習慣の確立と、目的ある学校生活の定着</li> <li>学習が遅れがちな生徒に対するきめ細かい指導</li> <li>教職員の共通理解の推進</li> <li>交通マナーの遵守</li> </ul>

1 学年

分掌	具体的目標	具体的方策	評価	
1年	基本的な生活習慣の確立	・体調管理について注意・指導し、各学期の出席率99%以上を目指す。	B	A
		・服装指導等を通じ規範意識を高めさせ、主体的に善悪の判断ができるよう指導し、自らの行動に責任を持たせる。	A	
		・集団生活を通してコミュニケーション能力を向上させ、自己の人間性を育む。	A	
		・明るく元気な挨拶ができるよう指導する。	A	
	基礎学力の定着	・毎日の朝学習に真剣に取り組ませる。	A	A
		・授業の始業と同時に授業が始められるように指導する。	A	
		・各教科担当と連携し、正しい授業態度で毎時間の授業に集中させる。	A	
		・各教科と連携し、課題を課すことにより家庭学習の習慣化を図る。	B	
	芝商生としての自覚と誇りを持った態度を育む	・新聞の活用をおして社会の動きに関心を持たせ、幅広い知識を身に付けさせる。	A	A
・各種の検定や部活動等に積極的に取り組むことにより、失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦する態度を養う。		A		
2年	①基本的な生活習慣の定着	・健康管理に気を付けた正しい生活習慣の定着を図る。	A	A
		・規律週間などでの街頭指導、服装頭髪検査を通じ、生徒の規範意識やマナーを高め、安全で規則正しい生活を送らせる。	A	

	②学力の向上と高校卒業後の進路意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科担当と連携し、正しい授業態度の確立と家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>各種進路説明会や学校見学、セミナー等の情報を提供し、積極的に参加を促し、進路意識の高揚と進路目標を明確にさせる。</li> <li>個別面談を定期的に行い、生徒理解に努め、学習、生活、進路等の適切な指導や支援を行う。</li> <li>普通教科及び専門教科の朝学習を充実させ、基礎学力を向上を図る。小論文指導を通じて、進路に向けた意識もさらに高める。</li> </ul>	A	A	A
	③中堅学年としての自覚を持たせ主体的に学校生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス配布の新聞の活用をおし、世の中の動きを知り、社会事象に関心を持たせ、幅広い知識を身に付けさせる。</li> <li>学校行事や部活動などをおし、中堅学年として3年生を補佐し、下級生への適切な指導が行えるよう自覚を促す。</li> <li>自分の将来を見据え、高度資格取得や部活動等を奨励し、スキルや人間的な成長をはかる。</li> </ul>	A	A	A
3年	①基本的な生活習慣の確立と基礎学力の向上・定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の授業や朝学習を大切にし、基礎学力の向上と定着を図る。</li> <li>家庭学習のより一層の習慣化を図る。</li> <li>クラス配布の新聞を活用し、社会事象に関心を持たせ、社会的な視野を広める。</li> <li>安易な遅刻・欠席・早退等しないよう、体調管理に注意・指導する。</li> <li>健康で安全な生活習慣を確立させる。</li> </ul>	B	A	A
	②適性や希望に応じた進路を実現させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒および保護者との個別面談を充実させる。</li> <li>進路指導部との連携を図り、進路情報の提供を充実させる。</li> <li>各進路希望に応じた面接・小論文指導の充実を図る。</li> <li>各種模試や学校見学・説明会などに積極的に参加するよう指導する。</li> </ul>	A	A	A
	③最高学年としての自覚と責任を持たせ、学校生活全般に主体的に取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>下級生の模範となるような品位ある生活態度を保つ。</li> <li>学校行事や部活動、委員会活動等に積極的に参加し、新発田商業の良き伝統を継承すると共に、さらに発展させるようリーダーとしての自覚を持って取り組ませる。</li> </ul>	A	A	A

2 分掌、人権・同和教育推進委員会

分掌	具体的目標	具体的方策	評価		
教務部	①学校行事等の計画と授業時数の確保	・学校行事等が円滑に実施できるように、各部・各学年と連絡を密にする。	A	A	A
		・行事やホームルーム活動の時間を適正に運用し、授業時数を確保する。	A		
		・出張等の場合は、可能な限り授業変更を行うよう促し、自習時間の削減に努める。	A		
②外部に対する積極的な学校のPR	・学校案内・学校要覧については、中学生に本校の魅力を伝えられる内容にする。	A	A		
	・中学校訪問を実施し、中学校教員に対し、本校の活動内容や魅力を適切に伝える。	A			
	・体験入学を実施し、魅力ある教育の実践を中学生にPRし、志願率増加の一助とする。	B			
③学習環境整備の充実	・シラバスを作成・活用し、毎時間の授業を大切に学習習慣を身につけさせるため、生徒への学習の指針を示す。	A	A		
保健安全部	①健康的な心身の育成	・健康的な心身の育成に向けた保健講演会を実施する	A	A	
		・保健室来室者の状況把握と適切な対応を心がけ、関係者との連携に努める	A		
		・計画的な健康診断の実施及び事後指導を徹底する。	A		
		・疾病予防意識や感染症予防意識を高めるとともに、健康に関する自己管理能力を育てる。	A		
	②安全で清潔な学校生活環境の整備	・定期的な大清掃を実施し、積極的な校内美化に努める。 ・美化週間を設定し、学校全体の環境整備意識を高める。	A A	A	
生活指導部	①基本的な生活習慣の確立	・規律週間を設定すると同時に、遅刻防止・挨拶の励行を全職員で日々指導する。	A	A	
		・家庭や警察との連携により問題行動の未然防止に努め、「謹慎指導ゼロ」を目指す。	A		
	②生き生きとした学校生活の確立	・配信メールや配布物等を通して、きめ細やかな情報の提供を心がけ、家庭と連携した生活指導を徹底する。	A	A	
		・生徒・教師の信頼関係を大切に、学校に来る喜びや目的を実感させ、「中退ゼロ」を目指す。	B		
③交通安全意識の確立	・交通マナー向上運動の実施、命の大切さを尊重した交通安全指導を徹底する。	A	A		
	・定期的な自転車・バイクのマナー指導や実技講習・交通講話を開催する。	A			
④人権意識の確立	・いじめ撲滅やネット上のモラル・マナー啓発の講演等を通して、生徒の人権意識の確立を目指す。	B	B		
進路指導部	①進路実現への意欲向上と自己啓発	・生徒の意識啓発に向けた、学年別進路ガイダンスを実施する。	A	A	
		・各種の進路説明会を開催し、生徒が各自の進路決定に意欲的に取り組めるように導く。	A		
		・生徒、保護者に対し、「進路だより」等により、進路選択に向けた有益な情報を正確かつ速やかに提供する。	A		
	②将来設計を見据えた望ましい職業観の育成	・適性検査や職安講話を実施し、自己の能力・適性を活かした進路選択ができるように促す。 ・個別面談を通し、商業を専門に学んだ者としての社会的立場や使命を自覚させる。 ・企業との連携や職場体験を有効に活用し、望ましい職業観を育てる。	A A A	A	

	③早期の進路決定と実力の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望の実現に向けた個別面接指導を充実させ、一人一人の自己実現を支援する。</li> <li>外部講師による小論文指導講座の開催及び全職員による個別指導等の支援体制を充実させる。</li> <li>各種の模擬試験を積極的に受けさせ、自己実現に必要な実力養成を図る。</li> <li>就職、進学のための面接指導を通して、自己を的確に表現する力をつけさせる。</li> <li>進学希望者、決定者を対象に補習体制を整え、学力の伸長を図る。</li> </ul>	A		
生徒会指導部	①生徒会活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会・委員会活動を通じて、生徒の自主的な活動を支援する。</li> <li>リーダー研修等を通じて、生徒会リーダーの自覚を促し、生徒の手による学校作りを推進させる。</li> </ul>	A		A
	②部活動、同好会への積極的な参加と活発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動・同好会等への積極的な参加を促し、活力ある学校作りを目指す。</li> <li>全員参加の集団活動として、生徒の協調性や協同性を育む重要な場と位置づける。</li> <li>より高い目標を目指す仲間と錬磨し、共に励むことで達成感・成就感を共有させる。</li> </ul>	A	A	A
	③協同・自立精神の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭や文化祭等の学校行事を通して仲間作りの大切さを学び、協同・自立精神のより一層の伸展と定着に努める。</li> </ul>	A	A	
メディアライブラリ部	①生徒の読書習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>より高い目標を目指す仲間と錬磨し、共に励むことで達成感・成就感を共有させる。</li> </ul>	B	B	
	②図書館機能を充実させ、適切な運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館における読書、学習の環境を整え、生徒の自ら学ぶ姿勢を手助けする。</li> <li>図書委員会を構成し、貸し出し、返却整理等の指導を行う。</li> </ul>	A	A	A
	③教育活動に視聴覚機器を利用してもらうよう促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の手段としてマルチメディアの部分の利用率の向上を図る。</li> <li>各種行事における機器の準備、記録を行う。</li> </ul>	A	A	
渉外部	①開かれた学校を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と教職員の連携を深め、開かれた学校を実現するため、PTA総会、体育祭、芝商祭等への積極的な参加を図る。</li> </ul>	B	B	
	②保護者参加の研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の健全育成・進路実現のために、保護者対象講演会、PTA視察研修の参加など、各種研修等の企画に努める。</li> </ul>	A	A	B
	③保護者への情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAメール配信の全員加入を促し、緊急情報やPTA活動の日程等を素早く正確に保護者に伝達し、PTA活動に対して理解を深めてもらう。</li> </ul>	B	B	
	④リユース活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生からできるだけ多く、制服を寄附してもらい、制服リユース活動を盛んにし、保護者の経済的負担を軽減するとともに、生徒の物品を大切にすることを育成する。</li> </ul>	B	B	
人権同和教育推進委員会	①人権・同和教育を推進し、人権感覚を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体の各教育活動において、人権・同和教育が実践出来る場面を設定する。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間HR計画に同和教育の授業実践を設定し、生徒・教師がともに学ぶ意識を醸成する。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>隣保館との連携や地域の人たちとの意見・情報交換を通して教職員の研修を充実させ、充実した授業実践が行えるようにするとともに、各自の人権感覚を磨くよう努める。</li> </ul>	A	A	A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>就職差別をなくす取り組みとして、統一応募用紙の主旨などを学ぶ。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>保幼小中高同和教育連絡会へ積極的に参加する。</li> </ul>	A		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>本校生徒と保育園児のふれあいを通した保育園との交流を促進する。</li> </ul>	A		

3 教科等

教科	具体的目標	具体的方策	評価	
普通教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生に求められる知識と教養と体力をバランスよく身に付けさせ、生徒の自己実現に資する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の特性を活かしながら、論理的思考力・判断力・問題解決能力・体力等の様々な観点から生徒の成長を支援する。</li> <li>分かりやすい授業を心がけるとともに、個々の生徒の状況に応じた指導に留意する。</li> </ul>	A	
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を的確に理解する力を養う。</li> <li>自ら学び、考える力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材を精選し、各ジャンルをバランスよく、体系的に学習する。</li> </ul>	A	A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>発問等の工夫により積極的に授業に関わる姿勢を育む。</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>次の課題を明示し、家庭学習の定着を図る。</li> </ul>	B	
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>民主社会の形成者として、健全な批判精神と人権感覚を持つ主権者の育成を計る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の取捨選択を積極的に行い、重点的に板書説明を行う。</li> </ul>	B	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の遅れがちな生徒に対応するために、早期に課題提示や補習等を実施する。</li> </ul>	B	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本となる事項を定着させるため、課題を工夫する。</li> </ul>	B	
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着と伸長</li> <li>生徒の実態に応じた指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題として毎週基本問題を与え、数式計算の定着を図る。</li> </ul>	A	A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組みと、課題、定期考査の結果などからそれに応じた指導を行う。</li> </ul>	A	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的好奇心と探求心を高め、自然を総合的に観察する態度・能力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察の授業を通じ、知的好奇心と探求心を高める。</li> </ul>	A	A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の授業を通じ、基礎学力の充実を図る。</li> </ul>	A	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>逞しく生きるための体力の向上を目指し、身体活動を通して豊かな人間性を培う。</li> <li>人生をよりよく生きるための知識の習得を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の一体化を目指した「体づくり運動」を取り入れ、仲間と交流する態度の育成を図る。</li> <li>人生のなかで起こりうる様々な健康・環境問題を学ぶことでよりよく生きるための知識習得を目指す。</li> </ul>	A	A
芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を多面的にとらえることにより日々の理解を深めるとともに、表現の喜びを味わわせ、積極的態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な表現に触れさせるとともに生徒の作品を展示する。</li> <li>体験的な授業をとおり、一人一人の特性を重視し、表現する意欲を高める。</li> </ul>	A	A
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の学習を通じて言語や文化に対する理解を深め、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度と、そのために必要な英語の運用能力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験的な授業を通じ、一人一人の特性を重視し、表現する意欲を高める。</li> </ul>	B	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使用する場面を効果的に設定し、コミュニケーションの手段としての英語を習熟させる。</li> </ul>	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣を定着させる。</li> </ul>	B	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活を共同して築いていく態度と技能を育て、健全で豊かな人間生活を営む能力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の個性・能力に応じた教材を工夫し、活用する。</li> </ul>	B	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に密着した実験・実習を取り入れ、実生活に応用できる知識の習得と技術力の向上を図る。</li> </ul>	A	
商業教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のスペシャリストの育成を目標に、専門的な基礎・基本の教育を充実させ、社会的ルール・モラル・マナーを身に付けた経済社会に対応する人材の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門教科における基礎・基本学習を充実させる。</li> <li>学習到達度を計る検定試験への充実した指導により、合格率を増加させる。</li> <li>学習内容を生かした実践的・体験的学習の充実により、社会人即戦力としての、モラル・マナーを身に付けさせる。</li> </ul>	A	
商業科	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスの基礎学力と取得した検定資格によって、幅のある進路選択を可能にさせ、生徒の自己実現を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を通じて資格や試験の重要性を説くことにより、取得への意識付けを行う。</li> <li>放課後や長期休業を利用した補習等の実施により、合格率を高める。</li> <li>インターンシップ等の実践的な学習を実施する。</li> </ul>	A	A
情報処理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に関する専門的な知識を身につけさせるとともに、ビジネスの基礎学力と取得した検定資格によって、生徒の自己実現を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を通じて資格・試験の重要性を説くことにより、取得への意識付けを行う。</li> <li>放課後や長期休業を利用した補習等の実施により合格率を高める。</li> <li>HP作成や企業と連携したネットショップ等の実践的な学習を実施する。</li> </ul>	B	B

4 成 果

<p>成 果</p>	<p>学年、分掌、教科、とも各部が設定した目標達成に向け、具体的方策に従って取り組み、多くの面で、昨年度を上回る高い実績を今年度もあげることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校最大の目標である生徒の希望進路100%の実現に向けた取り組みは、求人状況や入試環境の追い風もあり、今年度も良好な成果を収めることができ、3年生の就職内定率は100%達成、進学実績も希望者全員が志望通りの結果を出すことができた。また、国公立大学短大への合格者は昨年を上回り11人を数え、他の有力大学にも多数の合格者を出した。なお大学入試センター試験は昨年の11人から激増し24人が受験した。</li> <li>・商業教育関係では、各種競技大会での上位入賞、地域における各種イベントへの参加、楽天IT学校、オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト、課題研究における商品開発等への取り組みや高度資格の取得など、特色ある教育を実現してきた。</li> <li>・また、全商検定1級3科目以上合格の3冠達成者も6冠2名、5冠23名をはじめ、過去最高の134名を数え、昨年の101名から激増する大きな成果をあげた。</li> <li>・非行事案など生徒指導上の重大な問題行動は発生せず、服装・頭髮の乱れも皆無で、外来者から評価されることの多い日々の挨拶励行も昨年度に続き良好な状況を維持し続けている。</li> </ul>	<p>評 価</p> <p>A</p>
------------	---	---------------------

評価基準：A（達成できている） B（ほぼ達成できている） C（あまり達成できていない） D（達成できていない）